

## 教育的ニーズの整理 ～子どもの姿から教育的ニーズを整理する～

福島県特別支援教育センター



1

- 1 教育的ニーズを3つの観点で整理する
- 2 教育的ニーズは変化する
- 3 演習

2

## 教育的ニーズを整理する観点

- ① 〇〇障がいの状態等の把握  
(視点) 医学的側面からの把握  
(視点) 心理学的・教育学側面からの把握
- ② 〇〇障がいのある子どもの特別な指導内容
- ③ 〇〇障がいのある子どもの教育上の合理的配慮を含む必要な支援の内容



自立と社会参加を見据え、その時点で  
その子どもに最も必要な教育を提供する。

文部科学省「障がいのある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」R3・6を参考に作成(P3)

3

## 教育的ニーズを整理する(例)

☆小学生 Aさん



にぎやかな教室にいると  
気持ちが不安定になる

聴覚に過敏がある

4

## 教育的ニーズを整理する（例）

☆小学生 Aさんの教育的ニーズを整理する

### 【観点①】 障がいの状態等の 把握



聴覚に過敏がある

どのような音？  
どのような場面？  
自己理解は？

教室内の雑音がうるさくなる場面では、  
情緒が不安定になり大きな声を出す。

自分の感覚の特性には気付いていない。

※「障害のある子供の教育支援の手引」では、障がい種別に視点を掲載。

5

## 教育的ニーズを整理する

### 【観点①】 障がいの状態等の 把握

### 【観点②】 特別な指導内容

困難を改善・克服するために、  
本人が知識・技能などを身に付  
けることを目的に指導するもの

### 【観点③】 教育上の合理的配慮を含む 必要な支援の内容

他の子どもと平等に学ぶため  
に、学校が行う変更・調整とい  
う配慮

支援すべきところを頑張らせてしまっていないか、  
本人が力を付けるべき部分を支えすぎてしまっていないか、  
確認しながら整理していきます。

6

## 教育的ニーズを整理する（例）

☆小学生 Aさんの教育的ニーズを整理する

### 【観点①】 障がいの状態等の 把握



教室内の雑音がうるさくなる場面では、情緒が  
不安定になり大きな声を出す。

自分の感覚の特性には気付いていない。



にぎやかな場所に、長時間いることが苦手である  
自分の特性を知る。

### 【観点②】 特別な指導内容

教師に不快であることを伝えてその場を離れたり、  
イヤーマフをつけたりするなど自分で工夫できる  
ようにする。

7

## 教育的ニーズを整理する（例）

☆小学生 Aさんの教育的ニーズを整理する

### 【観点①】 障がいの状態等の 把握



教室内の雑音がうるさくなる場面では、情緒が  
不安定になり大きな声を出す。

自分の感覚の特性には気付いていない。



クールダウンの場所を確保する。

### 【観点③】 教育上の合理的配慮を含む 必要な支援の内容

放送が大きな音で入る予定のときは事前に伝える。

にぎやかな場所が苦手であることについて、周囲の  
友達や教職員への理解啓発に努める。

8

教育的ニーズを整理する(例)

☆小学生 Aさんの教育的ニーズを整理する

【観点①】  
障がいの状態等の  
把握

教室内の雑音がうるさくなる場面では、情緒が不安定になり大きな声を出す。

自分の感覚の特性には気付いていない。

【観点②】  
特別な指導内容

にぎやかな場所に、長時間いることが苦手である自分の特性を知る。

教師に不快であることを伝えてその場を離れたり、イヤーマフをつけたりするなど自分で工夫できるようにする。

【観点③】  
教育上の合理的配慮を含む  
必要な支援の内容

クールダウンの場所を確保する。

放送が大きな音で入る予定のときは事前に伝える。

にぎやかな場所が苦手であることについて、周囲の友達や教職員への理解啓発に努める。

教育的ニーズを整理する

【観点①】  
障がいの状態等の  
把握

教室内の雑音がうるさくなる場面では、情緒が不安定になり大きな声を出す。

自分の感覚の特性には気付いていない。

【観点②】  
特別な指導内容

にぎやかな場所に、長時間いることが苦手である自分の特性を知る。

教師に不快であることを伝えてその場を離れたり、イヤーマフをつけたりするなど自分で工夫できるようにする。

【観点③】  
教育上の合理的配慮を含む  
必要な支援の内容

クールダウンの場所を確保する。

放送が大きな音で入る予定のときは事前に伝える。

にぎやかな場所が苦手であることについて、周囲の友達や教職員への理解啓発に努める。

【観点①】  
障がいの状態等の  
把握

不器用さがあり…

【観点②】  
特別な指導内容

【観点③】  
教育上の合理的配慮を含む  
必要な支援の内容

【観点①】  
障がいの状態等の  
把握

状況に応じた行動調整  
が難しく…

【観点②】  
特別な指導内容

【観点③】  
教育上の合理的配慮を含む  
必要な支援の内容

☆小学生 Aさんの教育的ニーズの整理

- 1 教育的ニーズを3つの観点で整理する
- 2 教育的ニーズは変化する
- 3 演習

教育的ニーズを整理する観点

- ① ○○障がいの状態等の把握  
(視点) 医学的側面からの把握  
(視点) 心理学的・教育学側面からの把握
- ② ○○障がいのある子どもの特別な指導内容
- ③ ○○障がいのある子どもの教育上の合理的配慮を含む必要な支援の内容



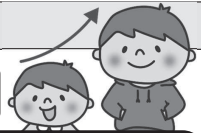
自立と社会参加を見据え、その時点でその子どもに最も必要な教育を提供する。

文部科学省「障がいのある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」R3・6を参考に作成(P3)

## 教育的ニーズは変化する(例)

Aさんの教育的ニーズの整理

教育的ニーズは、成長に伴い変化する



【観点①】  
障がいの状態等の  
把握

教室内の雑音がうるさくなる場面では、情緒が不安定になり大きな声を出す。

自分の感覚の特性には気付いていない。

【観点②】  
特別な指導内容

にぎやかな場所に、長時間いることが苦手である自分の特性を知る。

教師に不快であることを伝えてその場を離れたり、イヤーマフをつけたりするなど自分で工夫できるようにする。

【観点③】  
教育上の合理的配慮を含む  
必要な支援の内容

クールダウンの場所を確保する。

放送が大きな音で入る予定のときは事前に伝える。

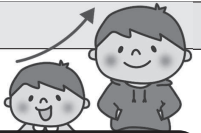
にぎやかな場所が苦手であることについて、周囲の友達や教職員への理解啓発に努める。

13

## 教育的ニーズは変化する(例)

Aさんの教育的ニーズの整理

教育的ニーズは、成長に伴い変化する



【観点①】  
障がいの状態等の  
把握

教室内の雑音がうるさくなる場面では、情緒が不安定になり大きな声を出す。

自分の感覚の特性には気付いていない。

【観点②】  
特別な指導内容

学級がにぎやかで困ったとき、苦手な音があることを親しい友達に伝えることができる。

教師に不快であることを伝えてその場を離れたり、イヤーマフをつけたりするなど自分で工夫できるようにする。

【観点③】  
教育上の合理的配慮を含む  
必要な支援の内容

クールダウンの場所を確保する。

放送が大きな音で入る予定のときは事前に伝える。

にぎやかな場所が苦手であることについて、周囲の友達や教職員への理解啓発に努める。

14

## 教育的ニーズは変化する(例)

Aさんの教育的ニーズの整理

教育的ニーズは、環境によって変化する



【観点①】  
障がいの状態等の  
把握

教室内の雑音がうるさくなる場面では、情緒が不安定になり大きな声を出す。

自分の感覚の特性には気付いていない。

【観点②】  
特別な指導内容

にぎやかな場所に、長時間いることが苦手である自分の特性を知る。

電車やバスに乗るときにイヤーマフやイヤホンをする習慣をつける。

【観点③】  
教育上の合理的配慮を含む  
必要な支援の内容

クールダウンの場所を確保する。

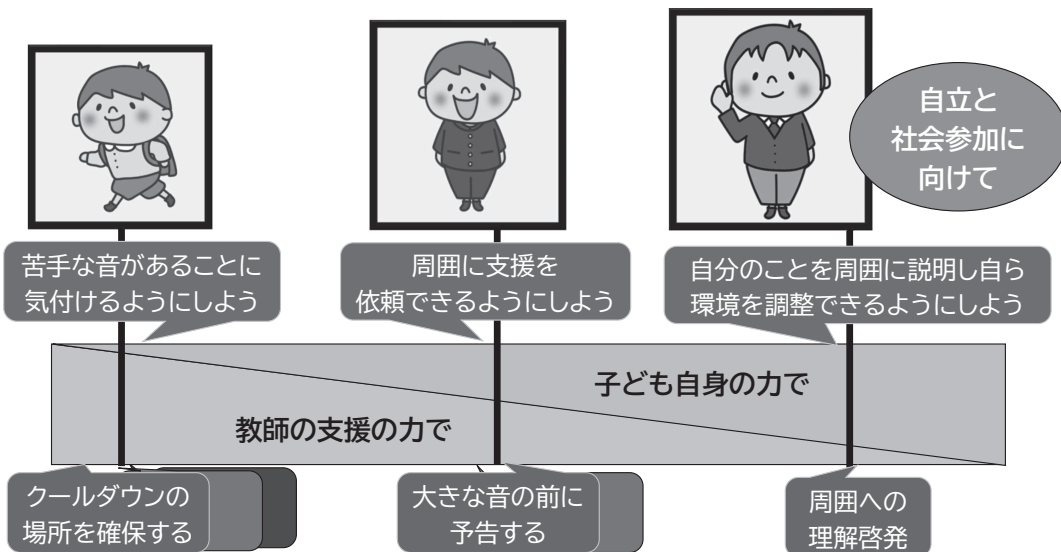
放送が大きな音で入る予定のときは事前に伝える。

にぎやかな場所が苦手であることについて、周囲の友達や教職員への理解啓発に努める。

今、必要  
優先すべき

15

## 目指す姿に向けて、今、必要な指導と支援は何かを見直していく

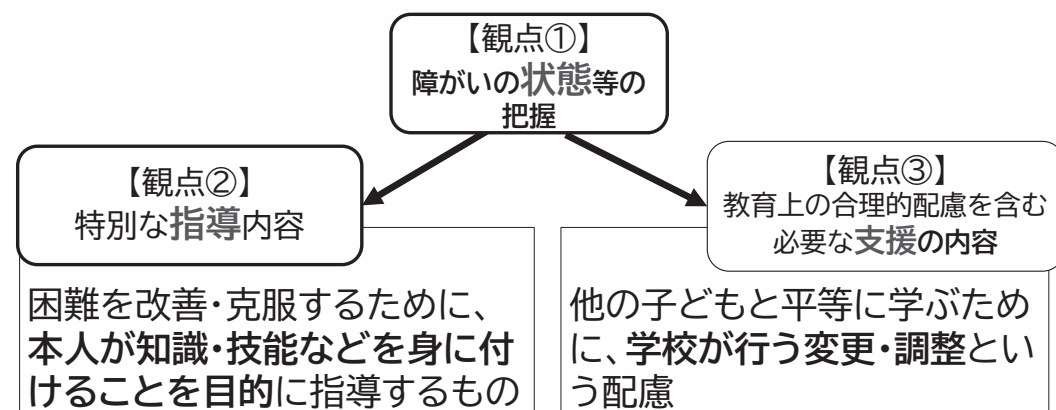


16

- 1 教育的ニーズを3つの観点で整理する
- 2 教育的ニーズは変化する
- 3 演習

17

教育的ニーズを整理する演習をやってみましょう(演習シートをご準備ください)



【演習のねらい】 架空の事例を通して

- ① 障がいの状態等を踏まえた指導・支援の内容を考える
- ② 特別な指導内容と教育上の合理的配慮を含む支援の内容を区別する

18

## 演習

「教育的ニーズの整理」演習シート 演習：それぞれの障がいの状態等に最もあてはまる指導と支援を表の中から記号を選んで書きましょう。

|                               |                                         |                               |                                                       |
|-------------------------------|-----------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 【観点①】<br>障がいの状態等の把握           | 今、聞いたことを記憶に留めておくことが苦手で、話を正確に聞き取ることが難しい。 | 【観点①】<br>障がいの状態等の把握           | 左右の手を同時に使って操作することが難しく手先の不器量さがある。はさみを使って、線に沿って切ることが苦手。 |
| 【観点②】<br>特別な指導内容              |                                         | 【観点②】<br>特別な指導内容              |                                                       |
| 【観点③】<br>教育上の合理的配慮を含む必要な支援の内容 |                                         | 【観点③】<br>教育上の合理的配慮を含む必要な支援の内容 |                                                       |

|                               |                                               |   |                                                 |
|-------------------------------|-----------------------------------------------|---|-------------------------------------------------|
| 【観点①】<br>障がいの状態等の把握           | 他者の気持ちを想像することが苦手で、思ったことをストレートに伝えてしまい、トラブルになる。 | ア | 補助具を準備する。                                       |
| 【観点②】<br>特別な指導内容              |                                               | イ | 言われたときの相手の気持ちを想像できるようにする。相手への伝え方を知る。            |
| 【観点③】<br>教育上の合理的配慮を含む必要な支援の内容 |                                               | ウ | クイズゲーム等を通して、楽しみながら話を覚えておくコツを身に付ける。確認する習慣を身に付ける。 |
|                               |                                               | エ | 親指、人差し指、中指の力加減を調節しながら使えるようにする。                  |
|                               |                                               | オ | 話し合い活動のときに、グルーピングを配慮する。                         |
|                               |                                               | カ | 短い言葉で指示をする。視覚的な手がかりを提示する。                       |

19

## おわりに

### 教育的ニーズを整理する観点

- ① ○○障がいの状態等の把握  
(視点) 医学的側面からの把握  
(視点) 心理学的・教育学側面からの把握
- ② ○○障がいのある子どもの特別な指導内容
- ③ ○○障がいのある子どもの教育上の合理的配慮を含む必要な支援の内容



自立と社会参加を見据え、その時点で  
その子どもに最も必要な教育を提供する。

文部科学省「障がいのある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」R3・6を参考に作成(P3)

ケース会議など担当している子どもについて話し合うときは  
3つの観点を意識しながら情報を整理していくことで  
より充実した話し合いにしていきましょう。



20